

紙段ボールの値上げにお困りの方へ

プラダン通い箱のご提案

コストダウンできる新しいダンボール



株式会社ヤマコー
営業部

紙段ボールの値上げ対策としてプラダンをご検討ください

2008年10月より、紙段ボールの価格が大幅に上がります。
ワンウェイ・使い捨ての紙段ボールにこれまで以上の費用が掛かることとなります。

- A) 製品に梱包資材費を転嫁し、エンドユーザーに費用を負担していただく
- B) 梱包方法を改善し、むしろ梱包資材費を節減する。そして利益確保または製品価格に反映して競争力をつける

貴社はどちらを選択されるでしょうか。

ここ数年、さまざまな業界でプラダン（プラスチック製ダンボール）の導入が進んでいます。
大手企業のみならず、エコ企業を目指し他社はもう物流改革に取り組んでいます。

**使い捨てをやめ、繰り返し使うことを前提にした
プラダンの通い箱を導入すればゴミの削減とコストダウンを実現することができます。
定期的に決まった場所に製品を納品している場合、通い箱にしてコストメリットを発揮させるチャンスです。**

貴社もこの機会に、リターナブル・通い箱の導入をご検討下さい。

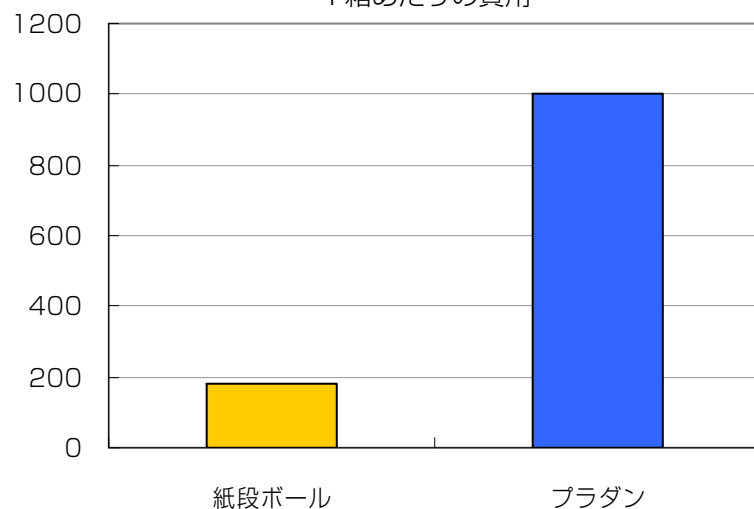
通い箱のススメ

従来メーカーから量販店などへ送付される商品の梱包材としては、使い捨ての段ボール箱が多く使用されてきました。しかし段ボール箱は使用後はゴミとなり、環境への負荷の要因となります。決まった拠点間を行き来する場合、再利用することを前提とした箱、「**通い箱**(かよいばこ)」を導入することにより、ゴミの削減＝コストの削減が可能になります。

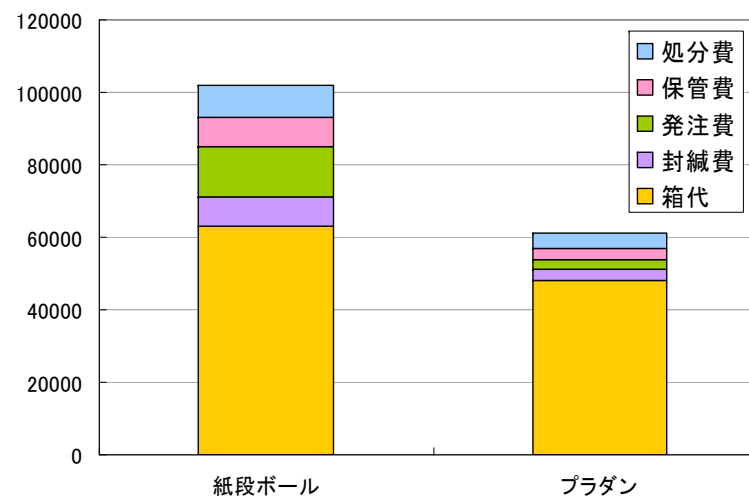
通い箱のメリット

- ・ 繰り返し使えるのでランニングコストが安い
- ・ 見えないコストも下がる
- ・ ゴミ削減、ゴミ廃棄コストの削減
- ・ エコ企業でイメージアップ

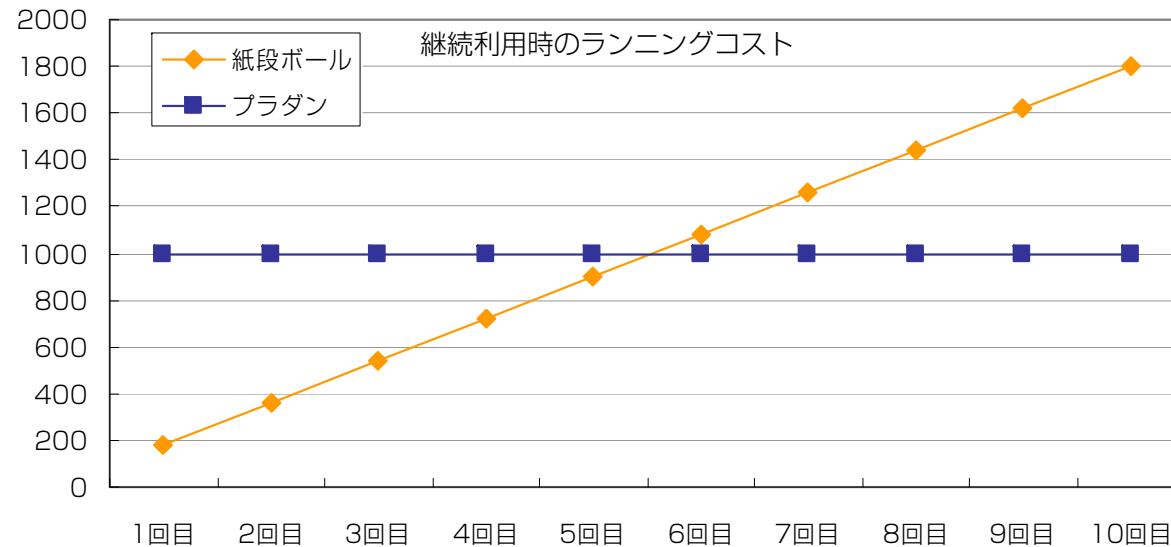
1箱あたりの費用



見えないコスト



コスト シミュレーション



使い捨ての紙ダンボールと異なり、プラダンは通い箱（通函）として何度も拠点を往復させることができます。
おおむね10回程度通わせるとプラダンの方がランニングコストが安くなります。
丁寧に使えば30回以上使うことができます。

プラスチック段ボールが通い箱に適している理由

プラスチックの特性を持ち、紙段ボールとほぼ同じ感覚で扱える新しい素材。

<シートの特性>

- ・中空構造で軽量
- ・水・油に強い、濡れてもボロボロにならない
- ・適度な硬さで割れにくく、耐久性がある
- ・紙粉が出ずクリーン
- ・リサイクルできるエコ商材
- ・導電や帯電防止など高機能タイプもある
- ・11色のカラーバリエーション
- ・厚みや硬さが豊富（1.5 mm～15 mmまで）

<ケースの特性>

- ・加工性がよく、金型なしで安価にオーダーメイドできる
- ・豊富な部材で利便性を高め、梱包作業の効率化を図ることができる
- ・繰り返し使えるため、ランニングコストが下がる

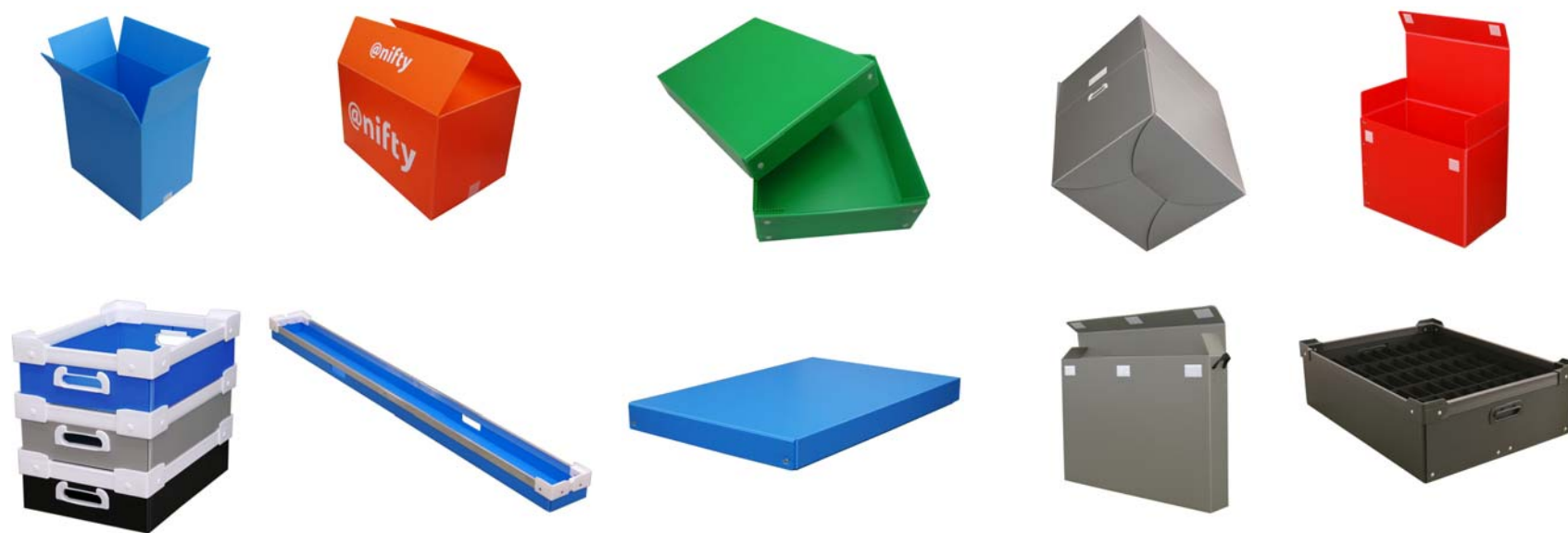
プラスチック段ボール製の通い箱はサイズや形状の自由度が高く、金型なしで安価にオーダーメイドできるため、小さな金属部品からドアトリム、バンパーまで多種多様な自動車部品を工場から工場に運搬する通い箱として自動車業界に普及しています。

お使いの箱をそのままプラダンにできます

紙段ボールのA式・B式・C式・N式・タトウ式など、各種の形状をそのままプラダンにすることができます。

特にA式の場合は紙段ボールとほとんど同じで違和感なく使うことができます。

さらに現在お使いの箱に、取っ手やマジックテープ・カードケースを取り付け、より使い勝手の良い箱にすることができます。



規格品もございます



プラダンA式
宅配100サイズ
宅配120サイズ
宅配140サイズ



プラダンN式
宅配60サイズ



パネルケース



ノートPCケース5台用
A式タイプ



ノートPCケース5台用
コンテナタイプ

プラダン導入事例

業種	健康食品製造
箱の形状・個数	プラダンA式タイプ 420 x 285 x h290 900ケース 取っ手・上蓋にマジックテープ加工
導入の形態・効果	紙段ボールからの切り替え 通い函にすることによってコストダウン、現在3ヶ月で約50回使用 上蓋のマジックテープで梱包・開梱作業が効率化した

	A式・紙段ボール	A式・プラダン
単価	約70円	約1000円
1回の運搬箱数	450ケース	450ケース
期間・往復回数	3ヶ月（50往復）	3ヶ月（50往復）
箱の使用回数	ワンウェイで使い捨て（1ケースあたり1往復）	繰り返し使用（1ケースあたり50回往復）
箱の費用	70円×450ケース×50回=1,575,000円	1000×900ケース=900,000円 ※通いにするためには出荷数量の2倍の箱が必要

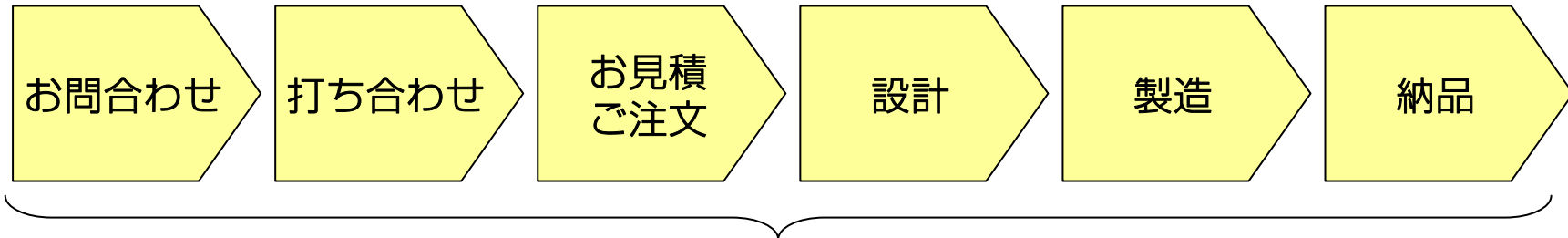
コストダウンモデル

3ヶ月： 675,000円
年間： 2,700,000円

※紙段ボール使用時は、箱本体の価格の他に、梱包資材費（テープなど）・処分費・梱包作業費・発注に係る人件費などの「見えないコスト」も必要です。

納品までの流れ・お支払い方法

オーダーメイド製作の流れ



約2週間～3週間

お支払い方法：銀行振り込み

■ 口座番号

京都銀行 墨染(すみぞめ)支店

当座No. 102565

■ 口座名義

株式会社ヤマコー

会社概要

概要

社名	株式会社ヤマコー
所在地	〒610-0202 京都府綴喜郡宇治田原町緑苑坂54-2 TEL:0774-88-6800 FAX:0774-88-6900
代表者	代表取締役社長 山崎恵弘
E-mail	info@yamakoh.com
URL	http://www.yamakoh.com
創業	昭和49年9月1日
会社設立	昭和51年1月24日
資本金	5000万円 (2009年2月1日現在)
年商	10億円
従業員人数	47人 (2009年1月現在)
取引銀行	京都銀行 墨染支店 東京三菱UFJ銀行 京都駅前支店 京都中央信用金庫 大手筋支店 京都信用金庫 伏見支店



沿革

昭和49年 (1974年)	京都市伏見区にてヤマコー商會を個人で創業
昭和51年 (1976年)	株式会社ヤマコー設立 (資本金500万円)
昭和52年 (1977年)	京都市伏見区島津町に本社用地を取得
昭和53年 (1978年)	宇治市槇島町に段ボール加工工場を開設
昭和54年 (1979年)	伏見区向島に工場移転
平成 4年 (1992年)	資本金1000万円に増額
平成 7年 (1995年)	プラスチックダンボール加工業務開始
平成10年 (1998年)	WEBサイト ヤマコー.com (http://www.yamakoh.com) 開設
平成13年 (2001年)	宇治市槇島町に本社工場を拡大移転
平成13年 (2001年)	資本金を2000万円に増額
平成18年 (2006年)	WEBサイト プラダン.com 10月1日開設
平成19年 (2007年)	資本金4000万円に増額
平成19年 (2007年)	宇治田原工場 完成 (10月)
平成20年 (2008年)	WEBサイト プラダンシート.com 開設
平成20年 (2008年)	資本金を5000万円に増額
平成20年 (2008年)	WEBサイト 通い箱.com 開設
平成20年 (2008年)	WEBサイト プラダンカタログ 開設

弊社ホームページにて多くの事例を紹介しております。

ヤマコー.com	http://www.yamakoh.com
プラダン.com	http://www.pladan.com
プラダンシート.com	http://www.pladan-sheet.com
通い箱.com	http://www.kayoibako.com
プラダンカタログ	http://www.pladan.jp